

令和3(2021)年2月12日

保護者の皆様

吹田市立第三中学校
校長 上西 創司
教育課程委員会

学校教育アンケートの結果について

今年度は、コロナ禍の中、6月から学校がスタートしました。また、行事も中止や、内容が変更になり、また授業の方法も制限がありました。学校では、授業時間数を確保するために、教職員も生徒たちも頑張っておりました。保護者の方にもご協力いただきありがとうございました。

さて、12月に実施しました学校教育アンケートの集計結果とまとめの考察が出来上がりましたので、ご覧ください。今後、アンケートの結果を踏まえ、本校教育のより一層の充実に向けて取り組んでまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

【保護者アンケートから】

1. 保護者の方の高い学校への関心

今回の保護者対象アンケートの回収率は85%でした。昨年に続き、多くの保護者の方が、学校教育活動に高い関心を示していただいている現れと捉えています。

2. 学校の取り組みの評価について

アンケート23項目中、高い評価（肯定的な回答率が80%以上）のあった項目が12項目、概ね高い評価（肯定的な回答率が79%～60%）のあった項目が10項目となりました。以上の結果から、本校の教育活動については、概ね肯定的に捉えていただいていると思えますが、いまだ低い評価にとどまるものも残っており、今後も課題改善にむけた努力が必要と考えています。

3. 魅力ある教育活動について

「子どもは、体育大会、校外学習などの行事に、積極的に参加している」については、9割以上の肯定的な回答がありました。また、「子どもは部活動を楽しみにしている」、「学校の雰囲気良く、子どもたちはいきいきしている」についても、肯定的な回答率が高く出ています。今後も、これらの活動を深化させながら継続していきます。また、生徒たちの成長する姿を見て頂きたいと考えています。

4. 学校の説明責任について

「学校は、教育方針をわかりやすく伝えている」、「学習の状況や学校の様子などを、懇談や学年通信などによって知ることができる」、「学校は、子どものことについて相談に応じてくれる」、「学校では、子どもに関するプライバシーが守られている」については8割以上の肯定的な回答がありました。今後も保護者の方に、学校の方針や学校目標・教育内容を積極的にお知らせし、理解を深めていただけるよう学校便りや校長ブログ等を工夫していきたいと考えています。

5. 学校の危機管理について

子どもの安全確保については、「台風や火災・地震時などの対応について、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている」については、9割以上の肯定的な回答がありました。学校としては、子どもの命を守り、安心・安全を確保することは、最重要課題であると認識しており、今後も、学校の危機管理を高めるとともに、年2回の避難訓練や、犯罪防止教室等を開設して、子どもたちの危機回避能力の育成にも努めていきたいと考えています。

6. 改善が必要な事項

「子どもは学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている」については、これからも、学校の中核は授業であるという認識のもと、授業研究等を積み重ね、「わかる授業」、「学ぶ楽しさが実感できる授業づくり」をすすめ、重点的に取り組んでいきたいと考えています。子どもの悩みや相談に対応できるように、子どもとの信頼関係を築いていくことや、子どもたちに人権意識や社会のルールやマナーを身につけさせることも大変重要であると捉えています。今後とも、これらの課題の克服のために、道徳教育・人権教育の推進に取り組んでいきます。また、「学校は、将来の進路や職業について、家庭への連絡や情報提供を行いながら適切な指導を行っている。」については、2年生での職業調べや3年生の進路学活などを将来の進路や職業にかかわる指導をより発展させ、取り組んでいきたいと考えています。

【生徒アンケートから】

1. 学校生活について

学校生活については、「学校へ行くのが楽しい」「部活動に参加するのが楽しい」「学校行事は、みんなが楽しく行えるように工夫してある」「昼休みの予鈴がなくても、時間を守って行動できた」の項目で8割を超える肯定的な回答がありました。生徒達は、概ね学校生活に満足し、校則も守ることができている様子が伺えます。さらに、生徒達の実態を正しく把握し、教育活動に反映させていきたいと考えます。

2. 授業について

授業については、「授業は分かりやすい」「授業の最初に「今日のめあて」が提示されている」「ICT機器（コンピューター等）を使う授業は分かりやすい」「意見を発表する機会が多い」「総合的な学習の時間は、教科以外のいろんなことを学べる」「家で学校の宿題をしている」の項目において8割を超える肯定的な回答がありました。今後は、さらにICT機器を活用した授業を取り入れていきたいと考えます。今でも、ICTを利用した授業を積極的に実施しておりますが、GIGAスクール構想により、1人1台のパソコンが配置されたことも踏まえ、より一層活用してまいります。

3. 先生について

先生については、「先生は、私たちの意見を聞いてくれる」「先生は、いじめや校内暴力など、私たちが困っていることについて対応してくれる」「授業でわからないことは、先生に質問しやすい」「先生は、学習で努力したことを認めてくれる」の項目において8割を超える肯定的な回答がありました。しかし、一部の生徒達は授業や学習内容については質問できるようですが、個人的な悩みを教員に相談しにくい傾向にあるようです。友達や保護者に相談できない悩みがあるとき、教員に相談できる環境を作れるよう、引き続きすべての教職員がカウンセリングマインドを身につけ、学級担任を中心としてお互いに連携し、生徒ひとりひとりの様子に気を配り、きめ細かな指導に努めてまいります。また、週一でスクールカウンセラーやスクール・ソーシャルワーカー、スクールカウンセラースーパーバイザーが配置されている中、今でも多くの生徒や保護者の方が利用されていますが、その利用についても継続して呼び掛けていきます。

4. 評価について

評価については「通知表の学習成績の評価は理解できる」の項目において8割を超える肯定的な回答がありました。今後も学習指導要領の趣旨を十分理解するとともに、教育の動向も踏まえながら適切な評価を心がけてまいります。

【生徒・保護者アンケートから】

家で学校の話をしている

「家で学校生活についてよく話をする」について、生徒は7割以上、保護者の方は6割以上の肯定的な回答がありました。ご家庭の中で学校の話をして頂いていること大変嬉しく思っています。今後ご家庭の話題に上がるような魅力ある学校づくりをめざしていきます。